2027年3月期 第2四半期(中間期)
決算説明(ハイライト)

株式会社アイ・パートナーズフィナンシャル
(東証グロース:7345)

本資料は、2026年11月13日にリリースしました
「2027年3月期 第2四半期（中間期）決算説明資料」
の内容を抜粋、再構成しています。

©Ai・Partners Financial Inc. All Rights Reserved.

目次

1. 当社の概要

2. 当社のビジネスモデル

3. 2027年3月期 第2四半期(中間期) 連結決算概要

©Ai・Partners Financial Inc. All Rights Reserved.

01

1. 当社の概要

©Ai・Partners Financial Inc. All Rights Reserved.

当社の概要

基礎情報

会社名	株式会社アイ・パートナーズフィナンシャル	
登録番号	金融商品仲介業　関東財務局長(金仲)第314号	
設立	2006年2月8日	
本店所在地	神奈川県横浜市西区南幸2-20-5 KDX横浜リバーサイド3階	
役員構成	代表取締役社長 兼 社長執行役員	田中　譲治
	取締役 兼 上席執行役員	松波　精二
	取締役(社外)	杉原　繁樹
	執行役員	塩本　かおり
	執行役員	大木　百合子
監査等委員会	取締役(常勤監査等委員)	吉川　昌利
	取締役(監査等委員社外)	上野　博史
	取締役(監査等委員社外)	中川　洋
グループ会社	株式会社AIPコンサルタンツ(100%子会社)	
資本金	343,058千円(2026年9月末現在)	
事業内容	金融商品仲介業を基軸としたIFAによる金融サービスの提供、プラットフォームの提供によるIFAの業務管理・業務推進・成功支援	
従業員数	51名(2026年9月末現在) ※業務委託社員、派遣社員含む	
所属IFA数	226 名(2026年9月末現在)	
拠点数	19(2026年9月末現在)	

代表者

代表取締役社長 兼 社長執行役員

田中 譲治



1957年鹿児島市生まれ、早稲田大学政治経済学部卒。
大和証券、モルガンスタンレー証券、UBS証券、
メリルリンチ日本証券にて、機関投資家向け株式営業、
及び個人資産管理型営業に携わった後、
2002年に独立系ファイナンシャル・アドバイザー(IFA)
として独立
2009年2月に資本・経営参加
2014年5月に代表取締役社長就任

拠点

200名を超える所属IFAが活動する
全国19拠点（2026年9月末現在）



©Ai・Partners Financial Inc. All Rights Reserved.

02

2. 当社のビジネスモデル

©Ai・Partners Financial Inc. All Rights Reserved.

事業内容

・IFA(Independent Financial Advisor)とは･･･
　➤顧客に対して中立的な立場から資産運用についてのアドバイスを提供するファイナンシャル･アドバイザー
・当社グループは、所属IFAの顧客に対して金融商品仲介業を基軸としたIFAによる金融サービスを提供
・当社グループの主な事業は、所属IFAにIFA業務のプラットフォームを提供する「プラットフォーム型金融商品仲介業」
・当社グループが所属IFAに対して提供するIFA業務のプラットフォームは、主に所属IFAの業務管理･業務支援･成功支援に関するもの

金融商品仲介サービス(当社)

資産の運用･保全･形成のための金融商品仲介業務

独立･中立の立場からお客様に寄り添った資産運用のアドバイスを行います。



IFAビジネスプラットフォーム提供等のIFAサポートサービス

所属IFAがファイナンシャル･アドバイス業務に専念できる環境を提供し、IFAの成功をサポートします。



その他金融サービス(子会社AIPコンサルタンツ)

複数の専門家のハブ機能としてのマッチングサービス

お客様の様々なニーズに対応するワンストップ･チャネルとしてマッチングサービスのラインナップを拡充しております。

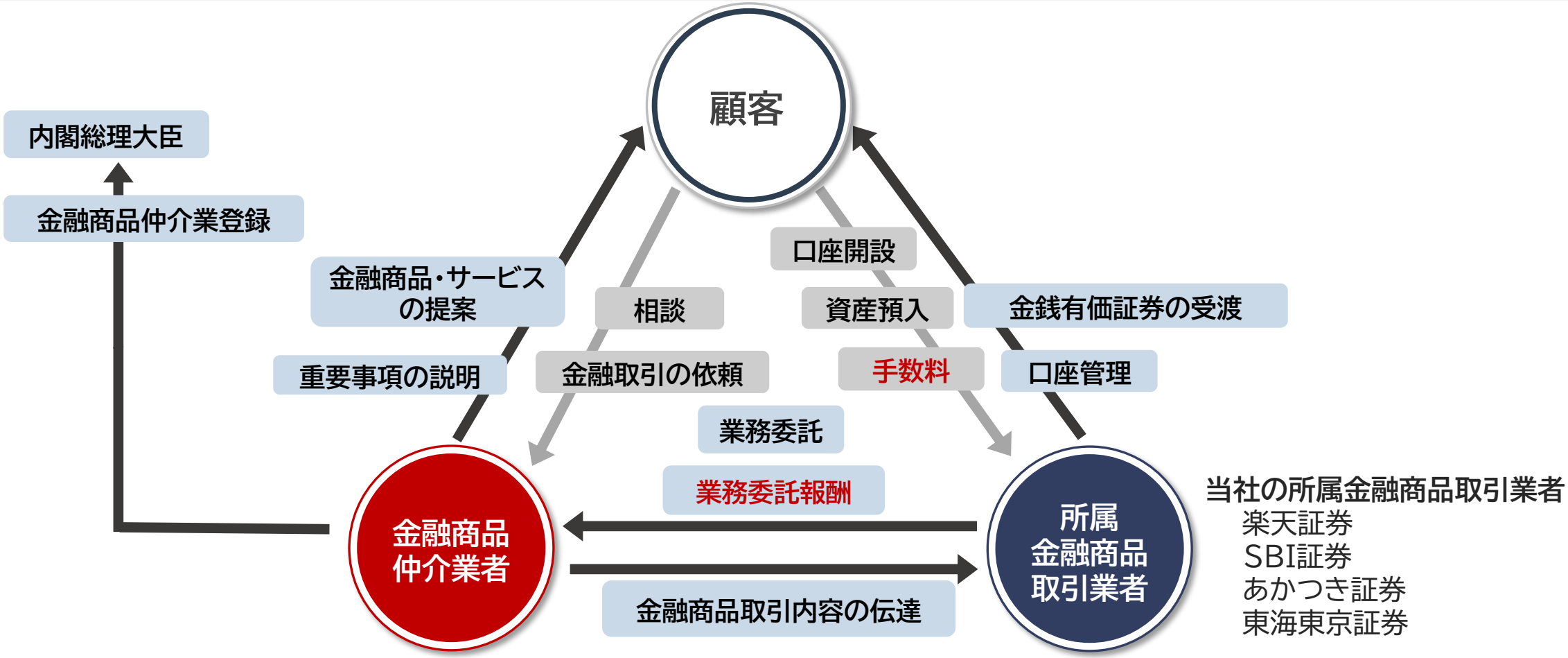


■AIPコンサルタンツは2026年3月末をもって新規の保険募集の取り扱いを停止し、2026年6月末をもって保険代理店業を廃業いたしました。なお、引き続き保険募集業務を希望するIFAについては、包括的業務提携を結んでいる株式会社エフケイを中心とした他の保険代理店への移籍及び契約の引継ぎが完了しております。

©Ai・Partners Financial Inc. All Rights Reserved.

金融商品仲介業の仕組み

・金融商品仲介業とは・・・
　➤金融商品取引業者の委託を受けて行う、有価証券の売買の媒介等を行う事業
・金融商品仲介業者とは・・・
　➤金融商品取引法第66条の規定により内閣総理大臣の登録を受けた業者



当社の所属金融商品取引業者
- 楽天証券
- SBI証券
- あかつき証券
- 東海東京証券

出典：第22回金融審議会「市場ワーキンググループ」事務局説明資料を基に当社作成

©Ai・Partners Financial Inc. All Rights Reserved.

IFAに提供するプラットフォームのイメージ

お客様

- 老後資金が心配
- ゴールベース資産管理に基づいた運用をしたい
- ライフプランニングに基づいた相談がしたい
- 相続の準備をしないと

IFAが安心して業務に専念できる環境

IFA　お客様の要望に応えられる質の高いサービスを提供したい

サポート体制

業務支援
- IFA事務局（受電対応、代理発注）
- システム対応
- 設備
- 情報共有ネットワーク

成功支援
- 営業ツール
- コーチング（啓発・研修）
- その他金融サービスの整備

業務管理
- 内部管理（コンプライアンス）

©Ai・Partners Financial Inc. All Rights Reserved.

03

3. 2027年3月期 第2四半期(中間期) 連結決算概要

©Ai・Partners Financial Inc. All Rights Reserved.

連結決算概要

- やや不透明な相場環境の下、計画通り増加した媒介する資産残高(AUM)をベースに前期比で大幅増収増益となった
- 連結売上高及び金融商品仲介業売上高は第2四半期としては過去最高を更新
- 保険代理店業は2026年3月末をもって新規保険契約募集取扱いを終了したため、その他売上高は減少

(単位:百万円)	2026.3月期 第2四半期 (中間期)	2027.3月期 第2四半期 (中間期)	売上比	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
売上高	**1,926**	**2,305**	**100.0%**	**379**	**19.7%**
金融商品仲介業売上高	1,662	2,167	94.0%	505	30.4%
システム使用料	117	106	4.6%	▲10	▲8.9%
その他	146	30	1.3%	▲115	▲78.9%
売上原価	**1,543**	**1,862**	**80.8%**	**318**	**20.7%**
売上総利益	**382**	**443**	**19.2%**	**60**	**15.7%**
販売費及び一般管理費計	**378**	**352**	**15.3%**	▲26	▲7.1%
人件費	224	202	8.8%	▲21	▲9.6%
オフィス費用	118	115	5.0%	▲3	▲2.6%
その他	35	33	1.5%	▲2	▲6.4%
営業利益	**3**	**91**	**4.0%**	**87**	**2206.4%**
経常利益	**4**	**92**	**4.0%**	**87**	**1935.3%**
親会社株主に帰属する当期純利益	**2**	**71**	**3.1%**	**69**	**3416.6%**

売上高

- 媒介する資産残高(AUM)は、485,015百万円 前年同期比20.5%増加
- システム使用料は、保険代理店に係るシステム使用料がなくなったため減少。金融商品仲介業に係るシステム使用料については前期とほぼ変わらず

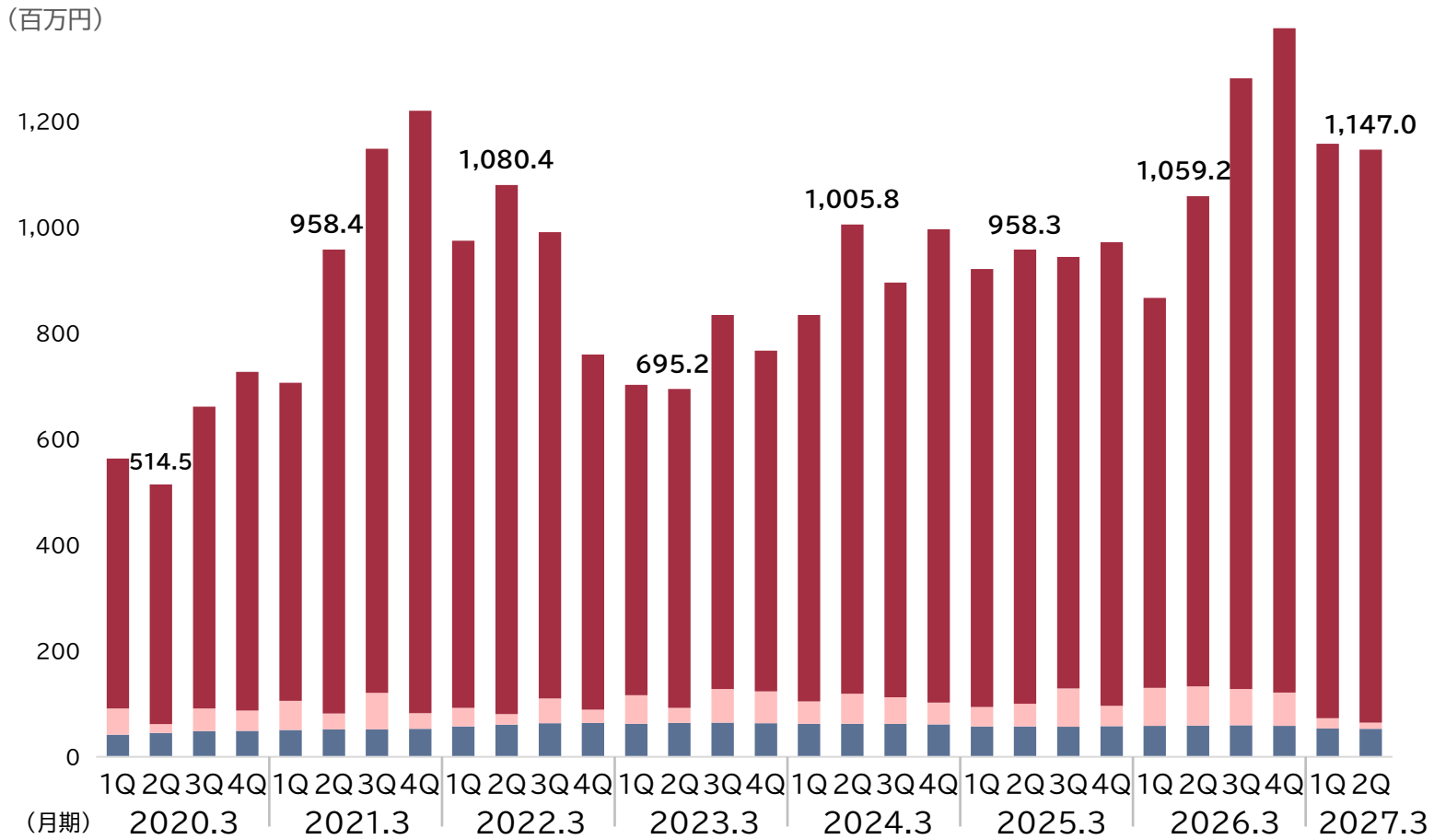
費用・利益

- 売上原価の大半は、所属IFAに対する報酬 (業務委託契約、フルコミッション制)
- 物価高騰によるシステム費用の増加はあったものの、保険代理店業に係る人件費、オフィス統廃合による家賃等の減少等により、販管費は前期比で減少

©Ai・Partners Financial Inc. All Rights Reserved.

売上高の推移

・計画通り増加した媒介する資産残高(AUM)をベースに、概ね良好な相場環境が寄与し、第2四半期としては過去最高となった
・その他売上は、保険代理店業につき2026年3月末をもって新規保険契約募集取扱い終了のため減少



売上高の内訳

金融商品仲介売上高

・顧客が証券会社へ支払う媒介取引手数料に対し、契約上の一定の報酬率を乗じて受取る報酬
・媒介する資産残高(AUM) の増加は、安定かつ継続的な売上増加の必須条件
・依然として相場状況の影響を受けやすいため、経営の安定化を図るべく、残高手数料の比率を高めることが持続的成長において肝要

その他

・100%子会社、AIPコンサルタンツによる複数の専門家とのハブ機能としてのマッチング業務
(保険代理店業については2026.6月末をもって廃止)

システム使用料

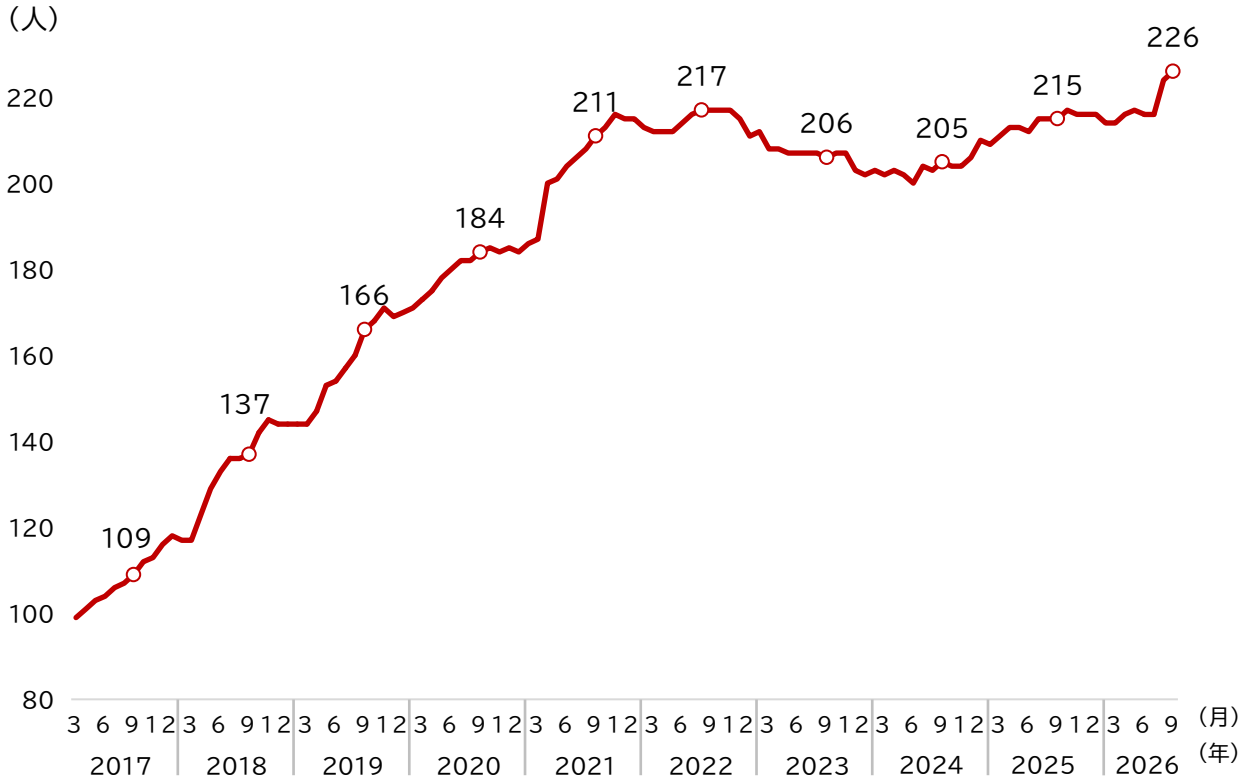
・所属IFAに対するサービス全般の基本的対価
(オフィス環境、各種サポートサービス等)

©Ai・Partners Financial Inc. All Rights Reserved.

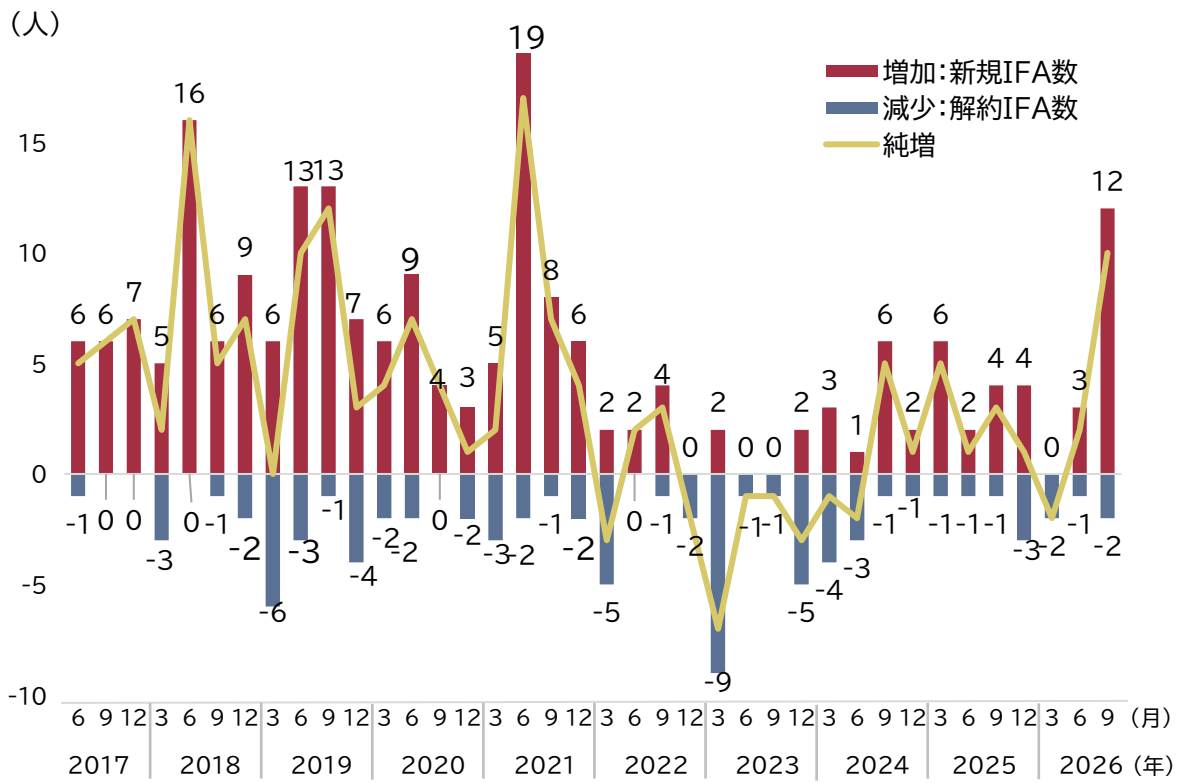
所属IFA数　※重要な経営指標（KPI）

・2027年3月期第2四半期末の所属IFA数は226名（前年同期比11名増）
　➤包括的業務提携先の株式会社エフケイの募集人の所属が促進。質の重視を徹底しつつも着実な純増を維持
・当社所属を志望するIFA候補者に対し、「顧客の最善の利益」追求の意志、顧客基盤、及びコンプライアンス意識等を面談で確認後、契約に至る

所属IFA数の推移



IFA数の増減と純増数の推移

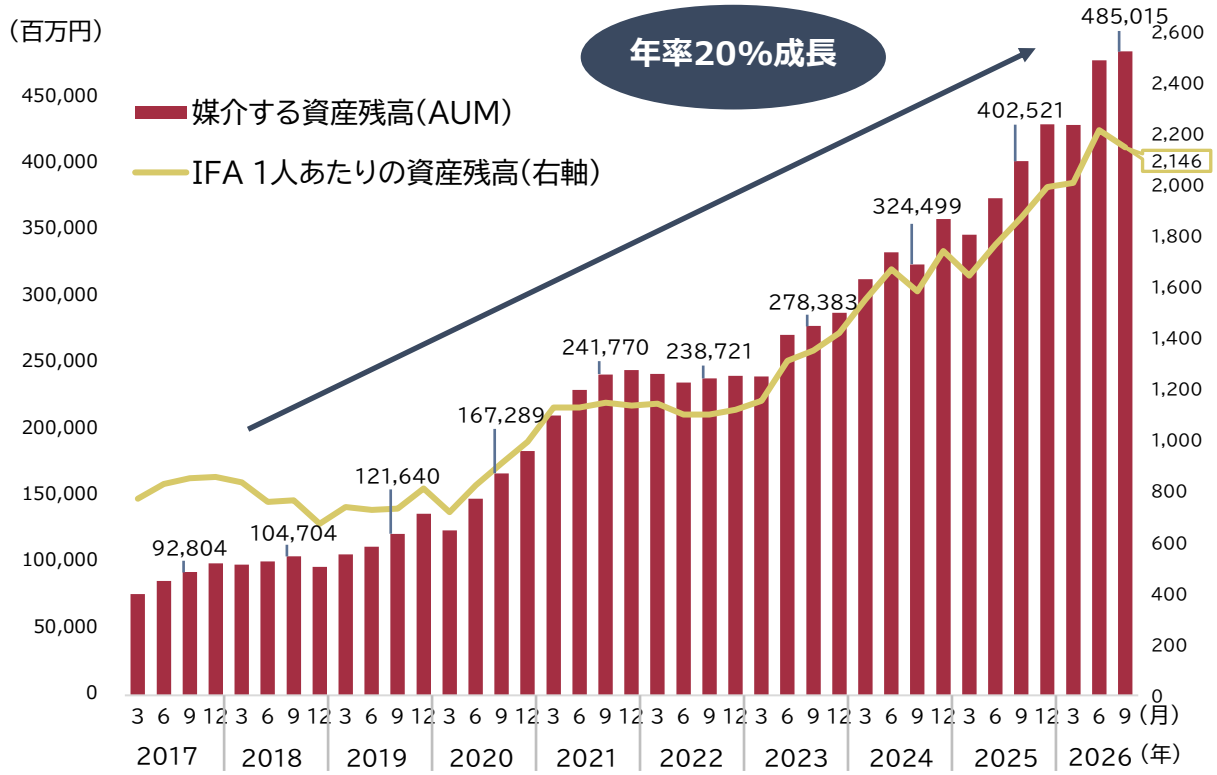


©Ai・Partners Financial Inc. All Rights Reserved.

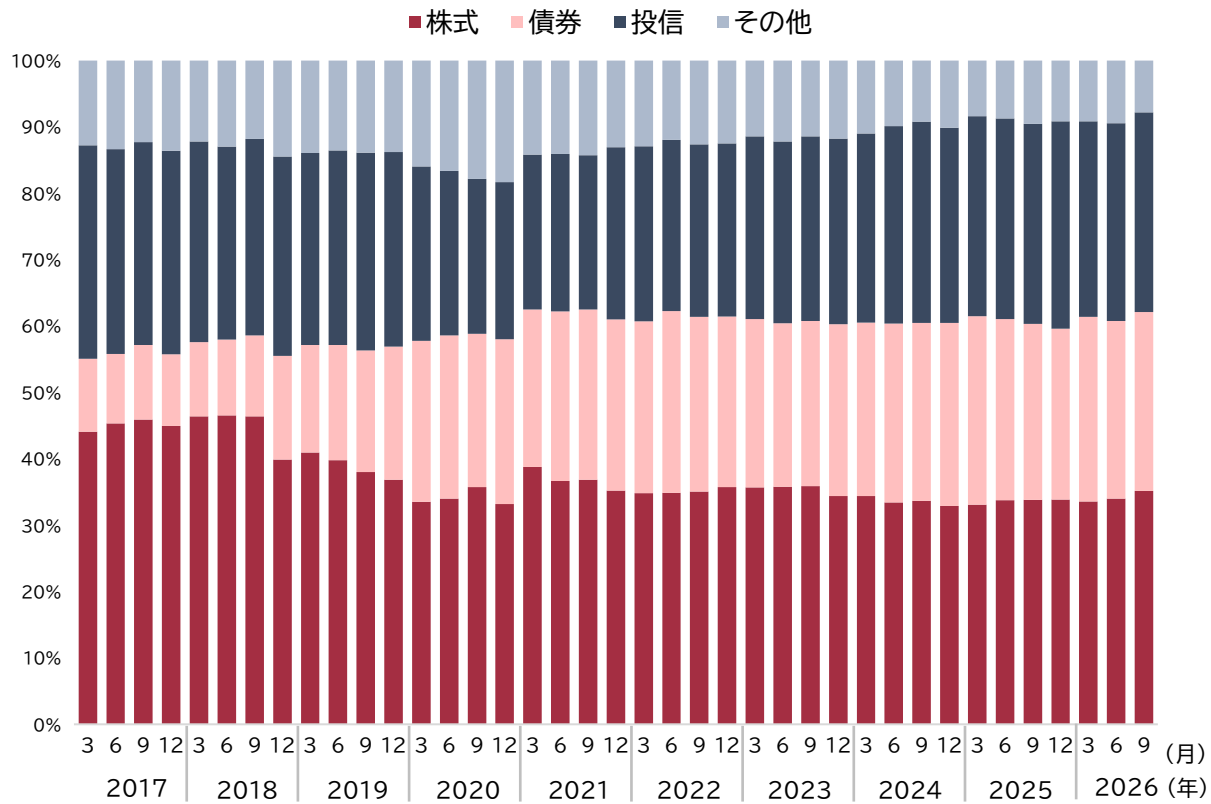
媒介する資産残高（AUM） ※重要な経営指標（KPI）

- 2027年3月期第2四半期末の媒介する資産残高（AUM）は、485,015百万円、前年同期比20.5%増加（過去9期における年平均成長率20%の高水準を維持）
- 所属IFA1人あたりの媒介する資産残高（AUM）は、2,146百万円、前年同期比14.6%増加
- 商品別割合は直近は大きな変化なし

媒介する資産残高（AUM）の推移



媒介する資産残高（AUM）の商品別比率

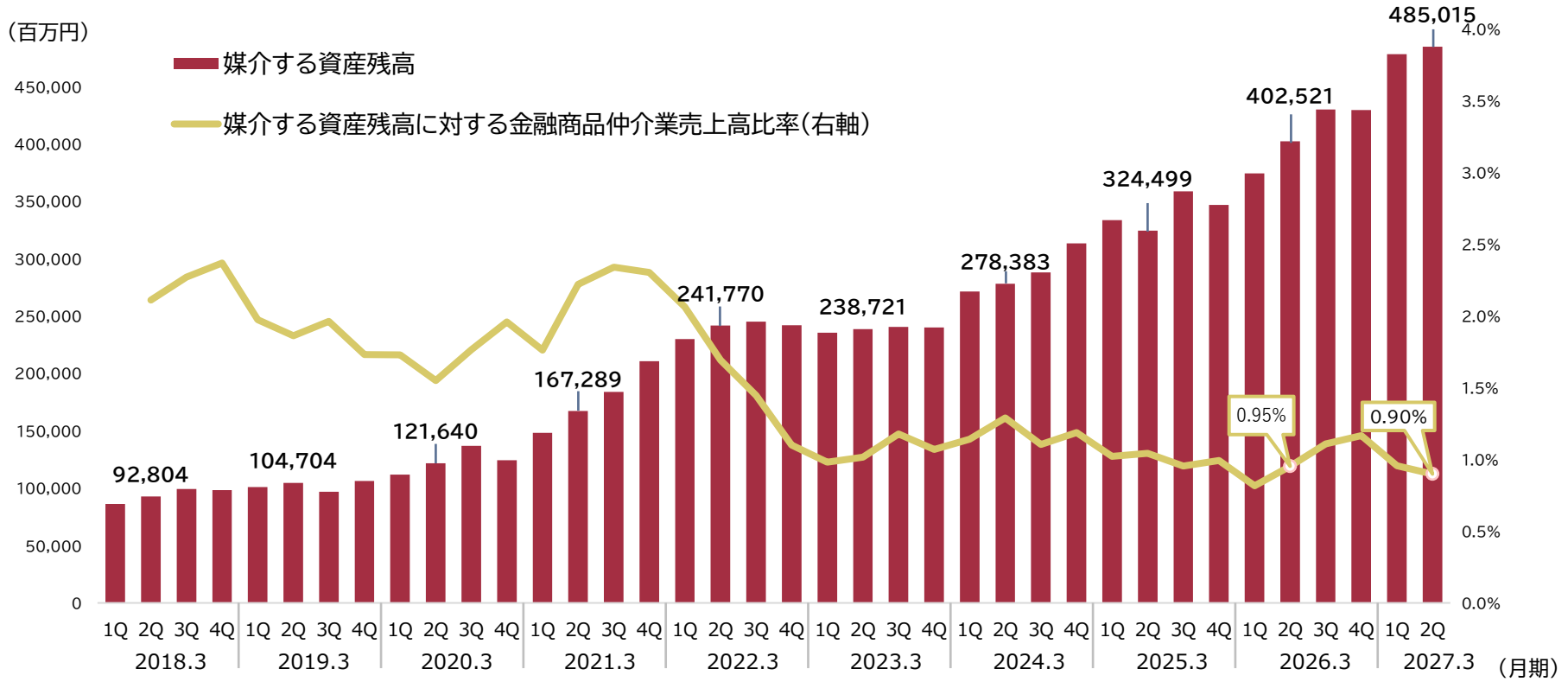


©Ai・Partners Financial Inc. All Rights Reserved.

媒介する資産残高(AUM)に対する金融商品仲介業売上高比率(ROA)※重要な経営指標(KPI)

- 2027年3月期第2四半期末の媒介する資産残高(AUM)は、前年同期比で20.5%増と、目標である年平均成長率20%を上回る水準で増加
- 「顧客の最善の利益」を追求する施策の推進の結果、「媒介する資産残高(AUM)に対する金融商品仲介業売上高比率(ROA)」は前期同様、1.0%前後の低い水準で推移している

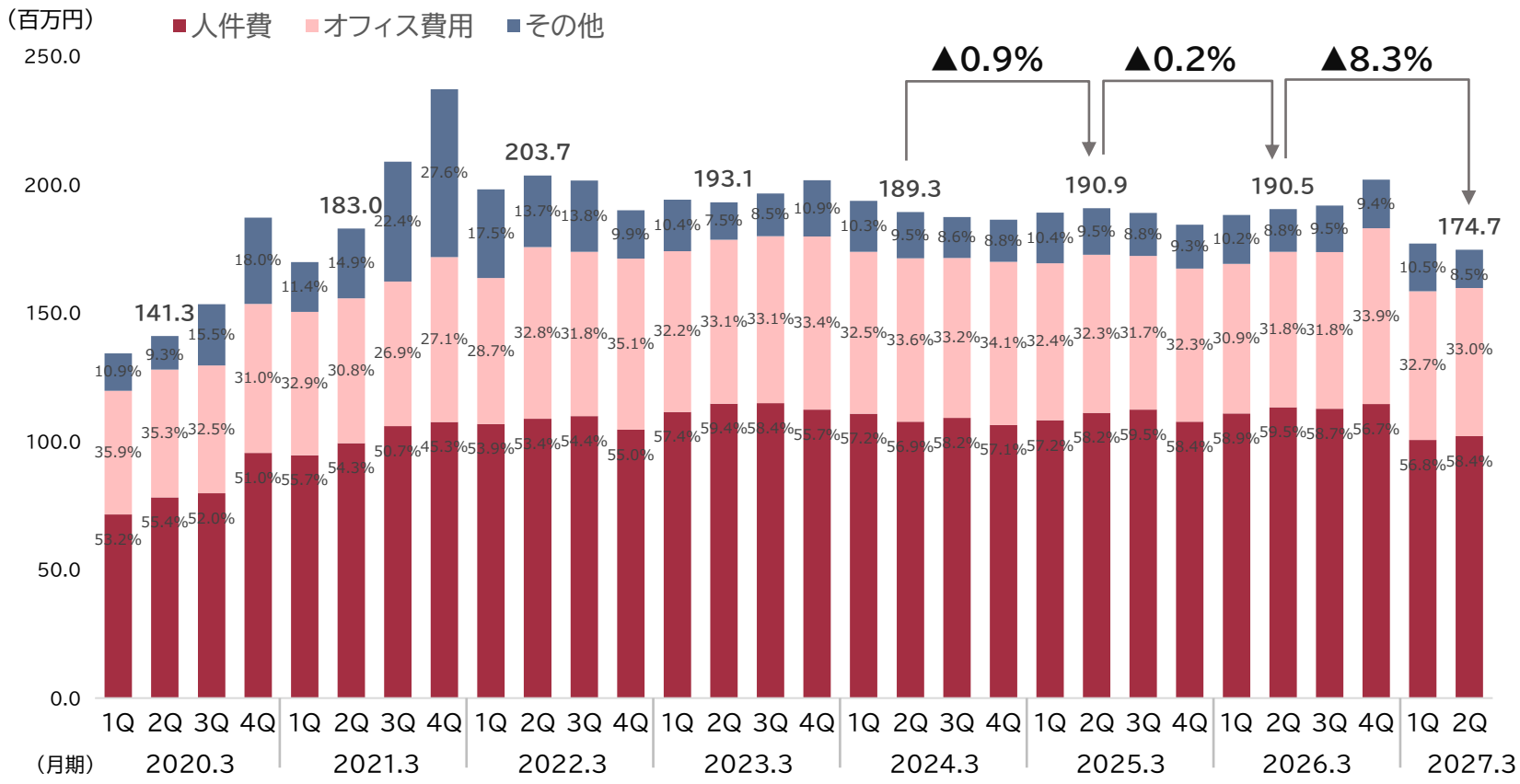
媒介する資産残高(AUM)に対する金融商品仲介業売上高比率



©Ai・Partners Financial Inc. All Rights Reserved.

販売費及び一般管理費

・販売費及び一般管理費の大半は、「人件費」と「オフィス費用」
・横浜本店でIFAサポート業務・集中一元管理を行うことで、所属IFA数が増えても社員の人件費を抑制できる体制を構築
・「リモート（フリーアドレス）契約への移行」と「既存オフィスの整理・統合」により、将来的なオフィス費用の削減と運営の効率化を実現



主な販売費及び一般管理費

人件費
・所属IFA数増加に、社員人件費全体（固定費）が連動しないスキーム
（所属IFAに対する報酬は売上原価に計上）
・全国19拠点及びリモート契約IFAに対するサポート業務のDX化
・所属IFAへのサポート業務は、横浜本店による「集中一元管理」
・保険代理店業に係る人件費がなくなったことで前期比減少

オフィス費用
・リモート契約への移行、オフィス統合閉鎖に伴い、中長期的な費用削減を想定
・所属IFAの「働き方の多様化」が追い風

その他
・上記の人件費及びオフィス費用以外の費用

©Ai・Partners Financial Inc. All Rights Reserved.

経営理念

顧客の最善の利益に資するIFAの活躍を支え、豊かで安心な社会の形成に貢献します。

当社は、顧客の人生に伴走し、その最善の利益を追求できる事業基盤をIFAに提供します。かかりつけの医師や士業のように、人々の暮らしに寄り添い、身近で頼れる資産運用の専門家としてIFAを広く普及・定着させることにより、持続可能で豊かな社会の実現に寄与してまいります。

ビジョン

IFAビジネスに関わる全ての人々の幸せを目指します。

ミッション

IFAがプロフェッショナルとして誇りを持ち、自立と成長を続けながら顧客の信頼に応え続けられる最良の事業基盤を提供します。

©Ai・Partners Financial Inc. All Rights Reserved.


AIPF
株式会社 アイ・パートナーズ フィナンシャル